

カーチャ・ブラウステバさん



皆さんこんばんは！この半年間で、私は山下泰裕先生をはじめ、NPO 柔道教育ソリダリティーの皆様、そして私のロシアの柔道の師、アナトリー・ラフリン先生の支援を受けて、充実した6ヶ月の研修を送ることができました。今晚は、皆さんと私がどのような研修をしてきたか、お話をさせていただきます。来日したのは今回が初めてではありません。しかし、子どもたちの柔道大会がたくさん開催されていることに今回発見し、驚きました。子どもたちは勝利に向かって、熱意を持って柔道の試合に臨んでいました。子どもたちはまだ柔道を始めて間もないのに、彼らの目には闘志の炎が燃えており、多くのすばらしい柔道の技も見ることができました。私は感動しました。

東海大学柔道部で練習を始めましたが、コーチの先生方をはじめ、特に女子の選手たちはとても親切で、いつも私たちをサポートしていただき、質問があればいつでも答えていただき、適切なアドバイスをいただきました。滞在中、いろいろなレベルの柔道を見て、またいろいろなレベルや年齢の子どもたちを指導する経験をするために、多くの町道場や、大学を訪問する機会を得ました。

最初は日本語が良く話せないで、子どもたちの前に立って指導するのが恥ずかしいこともありましたが、私がロシアで培ってきた技術が通用した時はとてもうれしかったです。

また、講道館初段の試験に合格したときは本当に心からうれしかったです。

この4月からは、東海大学で柔道の初心者指導している井上康生先生のクラスのアシスタントも経験しました。これは私にとってとても名誉あることです。このような多くの経験を企画し、指導して下さった光本健次先生にこの場をお借りして御礼申し上げます。また、プライベートでも大変お世話になりました。

この滞在中に、私は日本の文化伝統、たとえば茶道、生け花も体験し、多くのすばらしい文化を通して多くのことを学びました。

京都では着物を着る体験もしました。そして私たちがとても訪問したかった広島、福岡、そして熊本にも行くことができ、多くの神社仏閣を訪問することができ、歴史建造物にも訪問することができました。また、講道館で研修中に柔道の誕生の地を訪問することができたことは私にとっては大変興奮したことでした。

このような中で、私は柔道をもっと学びたいくなりました。

ロシアでは柔道は単なるスポーツとして捉えているコーチや選手が多くいます。

私をもっとも尊敬する、そして私にとっての最初の柔道の師であり、日本を愛し、日本の柔道を心から愛しているアナトリー・ラフリン先生に教えていただかなかったわけで

カーチャ・ブラウステバさん

はありませんが、私はこの半年の間、柔道は単なるスポーツではなく、教育的なスポーツであることを再認識し、帰国した際は、私は柔道の教育的側面そして、柔道を通して学んだ道を、多くの柔道を学んでいる人に広げていきたいと思います

皆さんはすでにご存知のことと思いますが、ラフリン先生は先日、再度就任したプーチン大統領の柔道の師です。

大統領に就任式が終わった翌日、プーチン大統領が最初にした事は、新しくできた柔道場にロシア柔道ナショナルチームを訪ねたことでした。

プーチン大統領はそこでみんなに言った事は、改めて柔道が彼の生活の一部であり、人生の哲学である柔道をもっと普及させたいと述べました。

最後に、このようなすばらしい研修環境を設定していただいた NPO の事務局の皆さんに心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。